

No.102

2019

2月1日発行

萩の郷

発行者

下市田区

発行責任者

杉田洋一

印刷

下市田・キタバヤシ印刷



恭賀新年

平成最後の「亥年」新年
様々な災いの無き事を祈ります。

どんど焼き完成（3区）

平成三十一年と新元号元年の年が穏やかにあけました。昨年は異常気象で災害が多発、地球の温暖化による気候変動が要因とか。加えて米中の経済摩擦、色々な国際間の協定離脱による経済の不透明化、消費税が10%になる事、景気がどうなるか様々な問題が有ります。

中国ではカード決済に移行中らしい、スマホ決済がどんどん増えて仕組みを理解しないと損する場合もある。「ぼーっ」としていると、チョコちゃんに叱られますよー」

反対に依存しすぎて混乱も、年末一部の送信側のトラブルで多くの人が右往左往することになった事例のように、頼りすぎない工夫をして、メモ等持っていないと連絡がつかず大変なことになるかも知れません。

どんど焼き作成もご苦労さまでした。正月行事が年々すたれてゆくのが寂しいです。

四月から年度切替えて新役員が誕生して八良館活動に入っていきます。不慣れな分戸惑いもあると思いますが、宜しくお願いします。

平成三十一年と新元号元年の年が穏やかにあけました。昨年は異常気象で災害が多発、地球の温暖化による気候変動が要因とか。加えて米中の経済摩擦、色々な国際間の協定離脱による経済の不透明化、消費税が10%になる事、景気がどうなるか様々な問題が有ります。

中国ではカード決済に移行中らしい、スマホ決済がどんどん増えて仕組みを理解しないと損する場合もある。「ぼーっ」としていると、チョコちゃんに叱られますよー」

反対に依存しすぎて混乱も、年末一部の送信側のトラブルで多くの人が右往左往することになった事例のように、頼りすぎない工夫をして、メモ等持っていないと連絡がつかず大変なことになるかも知れません。

平成三十一年と新元号元年の年が穏やかにあけました。昨年は異常気象で災害が多発、地球の温暖化による気候変動が要因とか。加えて米中の経済摩擦、色々な国際間の協定離脱による経済の不透明化、消費税が10%になる事、景気がどうなるか様々な問題が有ります。

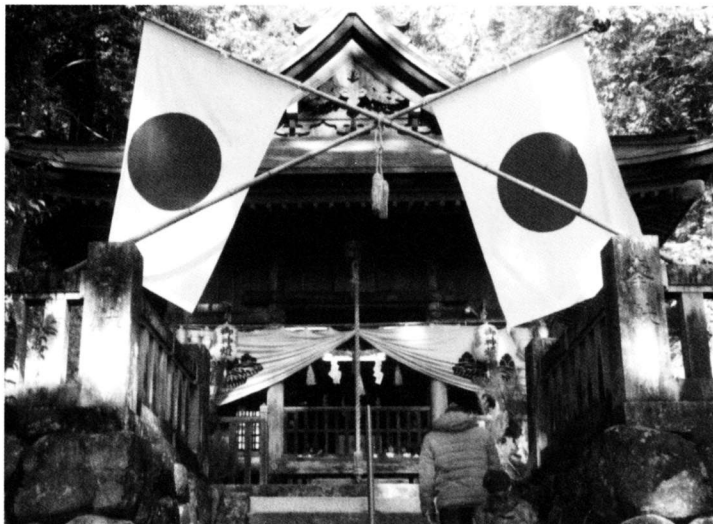
中国ではカード決済に移行中らしい、スマホ決済がどんどん増えて仕組みを理解しないと損する場合もある。「ぼーっ」としていると、チョコちゃんに叱られますよー」

反対に依存しすぎて混乱も、年末一部の送信側のトラブルで多くの人が右往左往することになった事例のように、頼りすぎない工夫をして、メモ等持っていないと連絡がつかず大変なことになるかも知れません。

平成三十一年と新元号元年の年が穏やかにあけました。昨年は異常気象で災害が多発、地球の温暖化による気候変動が要因とか。加えて米中の経済摩擦、色々な国際間の協定離脱による経済の不透明化、消費税が10%になる事、景気がどうなるか様々な問題が有ります。

中国ではカード決済に移行中らしい、スマホ決済がどんどん増えて仕組みを理解しないと損する場合もある。「ぼーっ」としていると、チョコちゃんに叱られますよー」

反対に依存しすぎて混乱も、年末一部の送信側のトラブルで多くの人が右往左往することになった事例のように、頼りすぎない工夫をして、メモ等持っていないと連絡がつかず大変なことになるかも知れません。

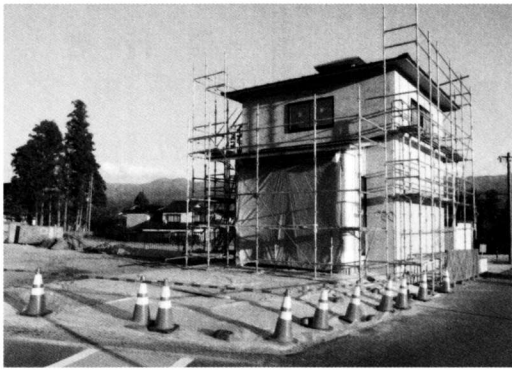


区の情勢について

区長 杉田 洋一

平成三十一年も穏やかな気候の中、元旦を迎えることができ南アルプスから昇る平成最後の初日の出を拝むことが出来ました。

昨年の世相を表す漢字は「災」わざわいと発表されました。地震・豪雨・台風・猛暑など災害が各地で発生し自然災害の脅威を痛感した年でした。また災害の経験から多くの人が自助共助の大切さを再認識致しました。お陰様でこの萩の郷は、大過なく過ごさせて頂きましたが、そんな災害がい



農免の先線、水天宮と明神橋の間の拡幅工事も予定通り推移されており平成三十一年度より工事に取り掛かることに成っております。地元の皆様や地権者の皆様にご協力頂く中で安全に進めて行きたいと思ひます。

又萩山郷土芸能保存会では春のお祭り「祈年祭」に向けて準備が始まっております。萩

つ発生するかわかりません。近所付き合いを大

の郷の五穀豊穡と無病息災を願ひ、区民一丸となつて賑やかに開催したいと

松岡城址「秋の陣」

松岡城址愛護会 松村 一



思います。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

画をいたしました。

当日は雲ひとつない快晴に恵まれ五十数名の大勢の参加を頂きました。

最初に全員で城址内の桜の枝などの除去作業を行い、続いて本丸の先端で資料館の芦部館長に松岡城についてのお話をさせていただきました。

そして、いよいよ「秋の陣」、弓と矢は役員が手作り、的に向けて矢を射る体験を行いました。今の子供さんは弓矢で遊ぶことはないので愛護会の会員が矢のつがえ方などの指導を行い、初めての体験をしてもらいま

した。続いて二の堀を下り、駆け上がり敵を攻めるといふ体験を実施。堀の上には新聞紙を丸めて石礫に見立てた武器を持った守り要員を配置、なかなか敵陣にたどり着けない体験をしてもらいました。

参加した子供さんがすごく喜んで楽しんでくれたことが幸いです。

委員会活動報告

土木委員長 高山 光義

区計画に於いては、要望取りまとめから町ヒアリングま

私達土木委員会は、一で関わらせて頂き、区民七名で構成し、地区内の道路・水路等を維持改善する為の年度地区計画策定に於いて、工事要望箇所の視察検討に始まり、実施時の立ち会い、進捗確認といった流れに関わらせて頂いております。他に春秋の里道作り実地案内、未舗装道路補修用敷砂利搬入、舗装道路補修要望集約と実施案内、通学路の草刈枝払い作業、降雪前の融雪剤申請と各所配布といった定期的な活動を行っています。毎年年度策定される地



宮田宅～飛沢宅下側溝整備二期工事まで完成の写真

萩山郷土芸能保存会

幹事長 塩沢基裕



役員の方々のお力添えを頂き、この伝統ある萩山神社の春の大祭を盛大に開催できるよう幹事一同精一杯努めて参る所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、この度平成の御代最後の春の大祭の獅子曳きの子供達、日程も決まりました。

新年あけましておめでとうございます。昨年の定期総会にて、幹事長に就任しました二区の塩沢です。

三月六日稽古初め、三月十七日屋台準備作業、二十二日稽古納め、二十



三日宵祭り、二十四日本祭となっております。地域の絆が一層深まり、良き伝統が末永く伝承されるよう願っております。

平成三十一年度

幹事会役員

幹事長 二区 塩沢基裕

副幹事長 三区 佐藤増一

同 一区 山本智治

会計幹事 六区 岩崎進

同 同 四区 林秀俊

備品幹事 四区 松原睦浩

同 同 五区 伊奈川邦彦

総務幹事 二区 大沢正彦

同 同 五区 岡沼朋宏

同 同 二区 倉沢和彦

同 同 六区 中村孝公

囃子部

部長 五区 原文文夫

同 副 二区 宮入正男

同 副 二区 市岡義久

獅子部

部長 三区 矢澤克浩

同 副 五区 竹村進

同 副 四区 木村彰宏

同 副 一区 原美智也

獅子曳き部

部長 一区 今川実章

同 副 三区 尾崎晃

相談役 二区 長尾敏一

本会計六区 村澤哲夫

御柱木遣り・喇叭保存会

幹事長 上沼基広



七年に一度、申・寅年

に行われる萩山神社式年御柱祭。今回は平成二十八年三月二十七日に行われ、御柱と大縄と区民衆、総延長60mほどの祭列を、木遣り唄と喇叭で一氣に動かし、下市田には、「独特の御柱木遣り唄」があり保存会を発足させたが、36災害以降消滅したとのこと。昭和四十年代に下諏訪の諏訪大社へ、申・寅年生まれの諸先輩が木遣りを習いに行き、現在その木遣りを唄って御柱を曳くようになり、平成二十九年

十二月、萩山神社の御柱祭に、木遣りと喇叭の共演を郷土芸能として伝承し、区民祭として盛り上げることを目的に、「御柱木遣り・喇叭保存会」が現在の形となって発足し活動しています。

御柱木遣り
喇叭保存会
萩山郷土芸能保存会
監査報告書

監査委員長

松下博人

老若男女総勢五十名程が、萩の郷まつりなどで披露し、四年後の式年御柱祭に向けて練習しています。我こそと思う方と一緒に木遣り唄で大声を出してみませんか。

同日午後一時から萩山郷土芸能保存会の会計監査・備品監査(備品台帳による書類監査)を幹事長・副幹事長・備品幹事・本会計・幹事会計・相談役の立ち合いで行いました。会計は本会計・幹事会計・各書類の記載・保管状況が適正であると認めました。備品は変更された物も正確に記載されており、的確に管理されている事を確認しました。



今後は各活動に対する収入の増加が検討課題と考えます。

下市田史談会の歩み(二)

会長 片桐 猛

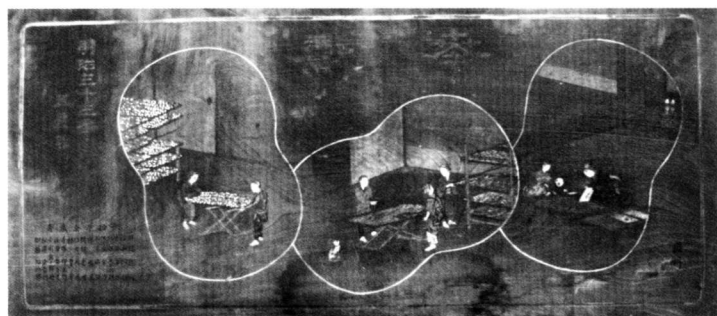
下市田史談会の歩みに
ついては、本紙第96号に
書いたので、今回は今ま
での歩みの中から二つほ
どのとり組みをあげ、書
くことにしました。

下市田の歴史を学ぶ講
演会の開催。毎年一回を
公開で長年続けており、
多くを学んできました。
下市田は古代から座光
寺の古墳、伊那郡衙との
関連において重要な地で
あったことを知り、
今の南大島
川によっての市
町界で、下市田
は何につけても
取り残されてい
る感を強くして
おります。

また、松岡氏
の出自から戦国
時代の武田・織
田軍の伊那への
侵攻。徳川の時
代、松岡氏と井
伊氏との動向な
ど多くを研修し、
郷土の歴史に関
心を深めること



郷土の歴史を学ぶ講演会



荒神社奉献「木板養蚕絵図」
(下市田区民会館保管)

蚕絵図」が見出され、飯
伊では、この類のものは
今のところ見るものがな
いとの話もあり、貴重な
文化財として、評価され
るものと思ひ保存に勉め
ており、これらを今年度
でまとめることにしてお
ります。

平成の世の終りに、六
十二年の会の歩みに想い
を深め、下市田のみなさ
んに多くを教えていただ
き、これからも会の趣意
にそって努めなければと
思っております。

萩山神社新総代挨拶

氏子総代長 富田 紘

紘

五三・新嘗祭、十二月の
大祓い祭と多くの祭事が
あります。

新年明けましておめで
とうございます。
平成三十一年は大変天
候も良く、二年参りも多
くの区民の皆様の参拝が
あり、感謝申し上げます。

昨年十二月の任期満了
に伴う役員改選により、
私共六名の総代が新しく
萩山神社の運営に当たる
事となりました。

区民の皆
様のご協力を
お願いしま
す。

また、神社
費値上げにつ
きまして昨年
十二月の代議
員会にて承認
を頂き、今年
度より値上げ
をさせて頂い
たきますが、
私共総代一同
経費削減に努
め、境内の保
全安全に努め
て参りますの
でよろしくお
願い致します。
また、総代

の任期も今までは四年任
期の十二月より、翌年の
十二月まででしたが、区
と同じ様に四月より、翌
年の三月までとなりました。
今年度の神社の祭事で
すが、一月の元旦祭、三
月の春季例大祭、八月の
風祭、九月の秋季例大祭
に御射山祭、十一月の七

会計部長 六区
大蔵 隆 廣

副総代長 三区
林 宏 之

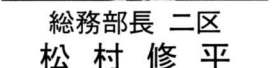
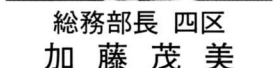
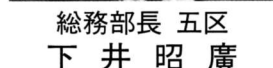
総代長 一区
富田 紘



総務部長 五区
下井 昭 廣

総務部長 四区
加藤 茂 美

総務部長 二区
松村 修 平



年 平成最後の
亥 お正月川柳



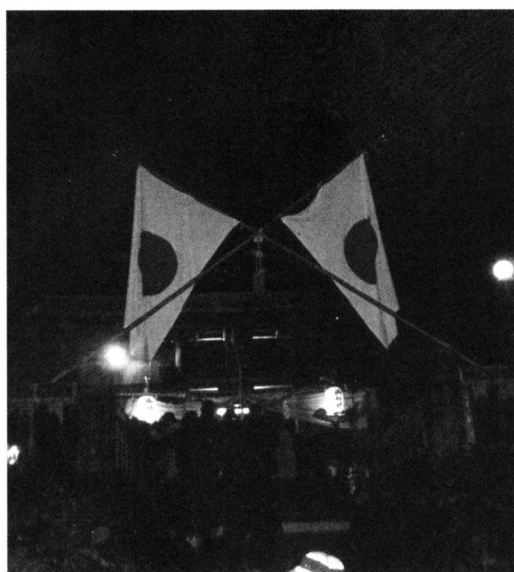
焼いて来て 妻から渡され どんど焼き
寝正月 テレビに拝む 初日の出
年々と 盆暮れ正月 あっちゅうま



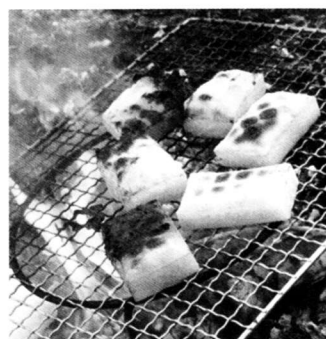
初詣 大吉引いて 亥々年に



晴天や 平成最後 初日の出



初詣 健康ねがい 筋トレで!!



「ねえまだ?」と 餅より先に ふくれる頬



主婦業も 連休したいな お正月



ありがとうの一言

二区 宮入孝則

私は結婚して九年目に
なりますが、この九年間
妻へ「ありがとう」と言っ
たのは何回あったのでしょ
うか。振り返ってみると、
気持ちがあっても言葉に
はできていなかったこと
の方が多かったと思いま
す。一方、妻は私に「あ

りがとう」をたく
さん言ってくれて
いたと思います。

昨今は共働きの世帯が
増えてきて、家事の分担
は当たり前となってきた
います。我が家も共働き
で家事を分担しています。
私はお風呂掃除を受け持
ち、朝風呂のついでに掃
除をしています。そんな
私に妻は毎回「いつも掃
除してくれてありがとう」
と一声かけてくれます。
私がお昼ご飯や晩ご飯を
作った時にも「料理して

くれてありがとう」や
「美味しいよ」と言っ
てくれます。私が洗濯物を
干したりしても「ありが
とう」と言ってくれます。



ほんの些細な事です
が、「ありがとう」という言
葉を言ってもらえるだけ
で、嬉しい気持ちになり
心が温かくなります。

私はというと、料理を
作ってくれている妻に對
して「ありがとう」と言っ
た記憶がありません。ま
た、掃除や洗濯をしてく
れている妻に對しても言っ
た記憶がありません。感
謝の気持ちがないわけ
ではなく、その感謝の気持
ちを直接「ありがとう」
という言葉にできていな

いだけでした。

来年は結婚して十年に
なります。そしてこの先
二十年、三十年と夫婦円
満でいられるように、日
頃から妻への感謝の気持
ちを忘れず、その感謝の
気持ちをしっかりと伝え
ていきたいと思っています。

ようこそ下市田へ

へおいでよ」と
誘ってくれたの
かもしれないね」

三区 村山 奈緒美

など話してい

喬木出身の主人と飯田
ます。また暖かくなったら子
園に上がるまでによい家
をた探していたところ、
偶然にも親類のいるこの
下市田に見つけることが
できました。
書庫や染織工房、屋根
裏部屋まで付いたわくわ
くする家に越して一年半。
下市田保育園に通う二人
の子どもたちも大喜びで
駆け回っています。
引っ越しが決まってほ
どなく、庭で目に飛び込
んできた四つ葉のクロー
バー。気さくで優しい常
会の皆さま。区内に私の
働き口も見つかり、まる
ごと収穫祭では子どもに
牛肉を頂き(ノ)。恋
人時代、本とパンを持っ
て丸山公園でデートして
いた私たちでしたので、
「かきまるくんが」ここ

随想

平成をふり返って

五区 花井芳秋

現場のリーダーと
して働いていた妻
と出合い結婚。現
在二十歳の長男を筆頭に
二男五女の子宝に恵まれ
ました。その中で私の両
親は相次いで病に倒れ逝
てしまいました。
そして長年勤務してい
た会社を辞めた事。一生
この会社でやると決めて
いたので、人生の一大転
機となりました。そして、
昨年長男が結婚し、五月
には我が家に初孫が誕生
します。
振り返れば、色々な

事が有りましたが、やっ
ぱり妻が日本に来てくれ
た事が一番うれしい出来
事でした。当時妻の実家
のある田舎には、日本人
が来る事もなく、戦中戦
後の日本人のイメージを
持っている人々も沢山い
ると聞かされていました。
その中で全てを受け入れ
て日本へ送り出してくれ
た御両親と私を信じて全
てを捨てて日本へ来る事
を決定してくれた妻には
本当に感謝しています。
そのあとも苦勞のかけっ
ぱなしでしたが、
新しい元号となり、子
供達も一人又一人とこの
家を巣立っていったあと、
妻と二人でゆっくりと歩
んで来たこの激動の平成
史をふり返える事が出来
るかなと思っています。



頃から妻への感謝の気持
ちを忘れず、その感謝の
気持ちをしっかりと伝え
ていきたいと思っています。

へおいでよ」と
誘ってくれたの
かもしれないね」



ラグビーとぼく

小三 小高陽文(四区)

りするの
で、とて
も体力を

ぼくが今、一生けん命使います。ぼくはがんばっていることはラグビーです。ぼくは友達にさそわれて、五才の時に入りまして。毎週土曜の午後に天白グラウンドで練習をしています。ラグビーは、タックルをしたりされたり、ステッ

プで左右に移動したり、全力で走ってトライした



チームと試合をしたり、夏の菅平合宿で強いみんなでお風呂に入った

り、買い物に行くのも、とても楽しいです。雨で練習が中止になるとガッカリします。ぼくはラグビーが大好きです。これからもずっと続けていきたいです。今年ラグビーワールドカップが日本で開かれるので、もっともっとラグビーがもり上がって、スクールの仲間がふえるといいなと思います。

わたしの作文
ぼくの作文

伝統を受け継ぐ

中二 宮下 咲良(五区)

年始の伝統行事である「ほんやり」は、私の住む五区でも毎年行われています。私は五区のほんやりを、とても誇りに思っています。なぜなら、私達の地区のほんやりはと



でも大きく、美しいからです。この、ほんやり作りには、小学生からベテランの方まで、幅広い年代のみなさんが参加しています。小学生は、正月飾りを集め、ほんやりの飾りを作ります。私達中学生は、材料となる竹を用意します。そして、地域のみなさんのご指導や協力によって、大きなほんやりを作っています。私はこの、

ほんやりこそが、地域を継いでくれるものであり、伝統として受け継いでいかなければならないものだと思います。昨年からベテランの方々に加えて、地区の青壮年団である「双葉会」のみなさんも協力して下さっています。ベテランから、次の世代へと伝統の知恵が引きつがれる姿を私達は間近で見えています。私も大人になったとき、このように、ほんやり作りに参加し、地域に貢献したり、伝統を守ったりできるようになりたいです。

地域の紹介

一区の紹介

子供御興の誕生

自治会長 松田 忠弘

の部分は唐沢
副自治会長が
子供達の担ぎ
易い様に工夫

分館事業として、五月に「親子ふれあい教室」を実施、三年度内容検討に入り、以前古老から子供御興を作り夏祭り、盛り上げたらのアドバイスを戴き、子供を中心に親子で作る事になりました。本番は二回の出陣で打ち上げ花火の下大いに盛り上がりました。世界でオンリーワンが二基子供達の心に残った事と思います。



まるごと収穫祭 「おしるこ店」出店

今年も下市田支館恒例となつておしるこが無料配布されまし

た。天候が心配されていましたが十一月十七日・十八日共に晴天に恵まれて、大勢の方々が来場され、列を作つて待っているお客様のためにすばやく盛

（土岐哲生記）

は配布開始一時間前から一回三百食を作れる大きな鍋で湯を沸かし、餡が焦げないようにぐるぐる混ぜて、甘さも程よく作ります。お餅は網で焼きますが焦げ目が少し着く位に焼くのが美味しいとされ、頃合いを見て餅を裏返す業は先輩達から受け継いだものだそうです。私は盛り付けを二人で担当し二年目になります。が、配布三十分前から行列を作つて待っているお客様のためにすばやく盛



編集委員会研修旅行 「日本海能生の旅」

平成三十年十一月十一日、日本海能生へ下市田支館編集委員の研修旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、車窓から綺麗な紅葉を見ながら、目的地に向かいました。

始めに訪れた糸魚川の加賀の井酒造は、創業三百六十八年の老舗の酒造で、二年前の大火で建物

が焼けてしまいました。焼けずに残った明治時代

の蔵を見る事が出来ました。今年三月に再建された歴史ある

日、日本海能生へ下市田支館編集委員の研修旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、車窓から綺麗な紅葉を見ながら、目的地に向かいました。

区民会館大掃除

一年間の汚れがとれて、とてもきれ

十二月二日、午後二時より区民会館の大掃除が各区の分館長・主事・支館三役・支館部員で行われました。一階二階の各部屋をはじめ、リフォームした大広間・トイレ・台所・外回り・玄関・窓ふき・蛍光灯などの掃除を行いました。皆さんの手際のよい作業で、一時間三十分ほどで終了することができました。



した旅となりました。上沼記



編集後記

平成最後の年、厳しい寒さの中で迎えた初日の出は、南アルプスの頂きから輝きとともに萩の郷に明るい日差しを届けてくれました。今年一年が平穏で区民の皆様にとって良い年になりますことをお祈りします。

今回の「萩の郷」102号は今の編集委員会では最後の発行となります。二年間、区民の皆様と一緒に作り上げることが出来たことに感謝申し上げます。